

西南部Ⅱブロック  
地域の未来についての懇談会  
(通算第128回)

開催日	平成30年4月17日(火)
開催時間	午後6時30分～午後8時
会場	西部公民館4階会議室(第1・2会議室)
参加者	47名



意見・質問等	市側の発言
<p>1. ごみの有料化に関して、今後どういう方向で考えているかについて</p> <p>2. 地域ふれあい会館や公民館分館等、地域自治協議会を進めていくための拠点の整備について</p> <p>3. 小学校の生徒数を調整することで校区を変更されるため、自治区域と異なってきた、その地域の結束が崩れることにつながってくるので、校区の変更・修正を考えていただきたいことについて</p> <p>4. 学園南地区には市立の小学校がなく、小学生はあやめ池小学校・私学・国立の3つに行かれるが、我々はコミュニティ・スクールにどう関わっていけばいいのかについて</p>	<p>1. 有料の袋を買うという形で有料化されているところが、近隣市でも複数ある。ごみの焼却炉は4つあるが、老朽化のため、毎年かなりの修繕経費がかかっている。紙製品のごみを廃品回収に出していただき、ごみの量を17%減らしたら、4つの焼却炉のうち1つは閉じることができ、その分の修繕経費が不要になるので、ごみの有料化を先に延ばすことができる。そのため、ごみの減量対策に協力いただきたいということ、地域を回ってお願いしたいと考えている。</p> <p>2. 地域自治協議会については、50地区一斉にではなく、やりますと手を挙げられた地区から、モデル的に行っていただく。拠点の整備については、既にある公共施設の一部改修により事務所空間を確保して行いが、手を挙げられた地区から順次行っていきたい。</p> <p>3. もともとは地区自治連合会と校区が一緒になっていたと思うが、新しい住宅地が開発されると校区が割られていき、それもまた割られるということで、無理な校区変更もあったかと思う。今後見直していく機会があれば、できるだけ見直していきたい。</p> <p>4. コミュニティ・スクールは、地域と学校が十分話し合って、そこに合ったスタイルで行っていただく。柔軟に考えて、なるべくその地域の実情に合わせてつくっていききたい。学園南地区については、地区の状況を考慮し、サポートもさせていただきたい。</p>

5. 富雄第三小学校以外のこの地区の小学校は、全部複数の中学校に分散して進学するので、コミュニティ・スクールは小学校単位で行いながら、どこの中学校に行っても同じような教育が受けられる環境づくりを調整していただきたい。(要望のみ)

6. 今まで評議員の制度があったが、それとコミュニティ・スクールとの関係について

7. この地域は私学に行く人が多いので、私学と公立との連携を検討してもらえないかということについて

8. 学園南の放課後子ども教室の活動を土曜日を拠点に行っているが、私立帝塚山小学校の子どもたちとの交流の場面を増やすことについて

6. 今までは学校評議員制度という法律によらない制度があり、校長先生の求めによって学校教育に意見をいただいていたが、コミュニティ・スクールが立ち上がっているところは廃止している。意見を参考にもらうのではなく、一緒に参画していただくというところが違っている。

7. 市の教育政策の考え方を私学の先生方にも知っていただいたり、地域とつながるようなテーマで協力を依頼するようなフレームについて、検討してみたい。

8. 昼間はいろいろな学校に行っても放課後になったら集まるような場を考えていかないと、ばらばらになってしまうので、放課後子ども教室等社会教育の範疇も踏み込んで、枠組みをつくっていけたらいいと思う。教育というジャンルだけでなく、地域づくりという視点も一緒に含めて、考えていけたらと思う。